

第1回 竹原市子ども・子育て会議議事録要旨

令和6年7月26日（金）竹原市子ども家庭センター2階会議室

1. 開会

欠席委員4名
自己紹介

2. 協議事項

(1) 会長・副会長の選出について

【質問・意見】

事務局提案に、異議はありませんでした。

(2) 竹原市こども計画（仮称）の策定について

以下の資料により事務局から説明

- ・資料1 竹原市こども計画（仮称）の策定について
次期「ひろしま子供の未来応援プラン」の検討状況について

【質問・意見】

資料説明後に、質問・意見等はありませんでした。

(3) こども・子育てニーズ調査の結果概要について

以下の資料に基づき委託業者から説明

- ・資料2 子ども・子育てニーズ調査（アンケート調査）結果概要
- ・資料3 竹原市子育て支援ニーズ調査（アンケート調査）平成30年度との比較
※事務局より補足説明あり

【質問・意見】

委員 小児医療の充実や幼児保育も携わっているので、私としてはすごく身につまされる思いですが、特に病児保育が平成30年から利用したいと思う方が減っているのは、1つにコロナ禍を経たことがあると思っています。

いろいろ便りを作ったりはしていますが、もっと周知しないといけない。あるいは利用料が高いことに関しては、県内ではそんなに変わりがないはずですが、パートタイマーのお母さんにとって1日2,000円は高いかなと思ったりしています。なかなか安全性をとると、今度は利用しづらくなる面もあるのかなと思ったり。特にコロナの検査を預かる前に必ずしているので、子どもたちが嫌がるのも無理はないだろうと思っています。その中でどうすればもう少し利用していただきやすいようになるのかとか、安全面を考えるとなかなかバランスが取りにくい面もあるとは思っていますが、何か突破口があればいいなと思っています。

会長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員 計画を今から立てられるということですが、その計画の中に文言として入れて欲しいということではなく、市としてよりいい計画を立てていただく中で、やはりその現場の充実が大事だと思っています。

私には小学校、中学校の子どもがいますが、不適切保育のニュースを毎日のように見ます。また、今回、通報制度義務化といった不適切保育を見た、知った、聞いたら必ず通報することが義務化になる法案が成立するというお話を聞いています。また、小中学校でも先生方の負担があまりにも大きくて、精神的にまいって病院に行かれたり休職されたり、学校の先生の成り手がいないといったことを聞きます。

それは現場での負担が大きすぎるので、やはりここをなんとかしないと、素晴らしい計画を立ててもそれを実行する保育士さん、小中学校の先生方が疲弊していたら本当の素晴らしい保育や豊かな教育はできないと思います。

もっとICT化を進めて雑用を少なくすると、先生が子どもと接することができると言っていました。先生方だけではなく障害者加配もそうです。アンケートでは障害に対する心配事が倍ぐらいになっていました。しかし国や県の基準からしたら、加配がつかないから預けられず困っている。市としてどこまでできるかわからないですが、やはり現場の保育士さん、小学校、中学校の先生方が本当に生き生きと働けるように。先生になりたいと勉強しているから本当に意欲は持っていると思います。けれど、現状を見たら、あんなところで働けないというのが本音だと思います。

計画を立てるのは素晴らしいことですが、本当に実現するためには、現場に目をむけていただきながら、計画を立てていただければありがたいと思っています。

会長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。これからの計画を作っている段階で、今までは利用者側の保護者の方にアンケートをとらせていただきました。それと合わせて、いわゆる支える側の受け皿の方にもヒアリングを行います。現場の声というものを拾い上げながら、計画の中に入れ込みます。ニーズがあるからと言って、実現できるかというのはまた違う話になりますので、その点につきましては、需給がうまくバランスが取れるようにとは思っています。

確かに仰られるように、現場というのは大切だと思います。竹原市として、やはり保育士等の確保もなかなか厳しい現状があります。

日本全国を見たら待機児童と出ていますが、竹原市は今までご尽力いただく中で、待機児童はいません。しかし、もし出た時にどうすればいいのかも考えながら今後も1人でも多くの方に子どもを安心して預けていただけるような環境づくりを進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員 現場のお話がすごく沁みました。それと、今度事業者側のお気持ちも聞いてくださるということですが、今回のアンケートで、お母さん、お父さんたちが、小児医療等の充実を1番にあげてらっしゃるという声には、やはり耳を傾けたらどうかと思います。

他の市町村がこのような医療の補助を出されていて、竹原市はここまでやっているといったところがあると思いますが、何か1つでもできることがあれば努力するもいいのではないかと思います。

会長 ありがとうございます。

事務局 小児医療の問題につきましては、先ほど私の方からも、このアンケートの中で、大きな傾向として見てとれると申し上げました。

本市ができることとして、昨年、18歳までに医療費の助成を拡充しました。やはり一度に小児医療を充実させるというのはなかなか難しい面もありますが、できることから1歩ずつ進めていきたいと考えています。

会長 ありがとうございました。ほかに意見はございませんか。
御協力ありがとうございました。事務局へお返しします。

事務局 第2回は9月26日に予定しています。次回の会議では、骨子案をお示しすることになりますが、8月末か9月初めに資料の事前配布をしたいと考えています。

今回の会議では、こども計画とアンケートの結果を紹介させて頂きましたが、5年間の結果と今後の5年間のニーズを一旦整理した上で、骨子案を整理したいと考えています。また、ご意見・ご質問をいただく中で、それらを踏まえて、骨子案を示したいと思います。

3 閉会

以上